

實成寺本堂のご宝前にお棺のみを安置し
葬儀の祭壇を使用せず
お供えの花のみの簡素なお葬式を営みませんか

当山の本堂は、文化財としての平成の大修理が、皆さんの絶大なるご支援により完成することが出来ました。こころより感謝しております。ありがとうございます。

その気持ちを何か形にしてお伝えできないものか。皆さんのご支援とご協力に対して、住職としてまた総代役員として、何かお返しができないかと考慮しておりました。

住職は、皆さんと触れ合う機会も少なくなり、葬儀や法事の時のみということが多くなりました。近年その葬儀が、葬儀社の主導で行われ、不明瞭で法外な高額請求と聴きます。そしてそのほとんどが、不必要なものようです。特に名古屋地区は、全国平均の250万円をはるかに越える350万円以上の費用が葬儀社に支払われていると聞きます。

そこで当山で以前に普通に行われていた『本堂におけるお葬式』をご提案させていただきます。皆さんのお尽力で再生した新本堂を有意義に使用して頂くことは、ご寄付を賜った方に利益を還元し、広く地域の皆さんへも利益の回向となり得るとおもいます。

ごく近年まで皆様のご先祖のお葬儀は、遺族・親族や会葬者の協力により、人生最期の儀式として簡素に行われていました。しかし近年の葬儀は、故人や遺族の思いを全く無視して、営まれていると思われてなりません。お葬式とは、静かに故人がお釈迦様のお浄土に往かれることを心掛けた、儀式でなければいけないはずです。

最近求められるお葬式とは、社葬などの盛大に行われる葬儀よりも、遺族・親類・町内及び、一部の友人らが会葬する密葬や、遺族や親類だけの家族葬が数多くなってまいりました。これらは時代の要請であり、その式場として当山の本堂が最適と思います。

そこで今、普通に行われている会葬者100名の葬儀を想定して、葬儀社数社と話し合いを重ねております。

日蓮大聖人は「先ず臨終のことを習ふて後に他事を習ふべし」と、私たちにお諭し戴いております。皆さんもご自身のイメージで、ご臨終（葬儀）を迎えるときの準備をしておくべきではないでしょうか。

なお、既に納めてある互助会等の会費については、葬儀費用の支払を済ませる前であれば、解約手数料を指定の業者が負担してくれますのでご心配なく。

また、これら葬儀の費用を捻出できない方であっても、遠慮なくお申し出てください。いかようにも対処し善処いたします。市町村からの補助金がいただけることもあるようですので、そちらにつきましても調査しておきます。

（實成寺の行事や法事により、本堂が使用できないときは、開山堂又は山内寺院の本堂を使用する。日蓮宗以外の方の時は、書院や開山堂を使用する。）

早朝でも深夜でも、お寺は24時間営業です。皆さんのご連絡をお待ちしております。

何かお困りのことがございましたら、**何時でも實成寺まで先ず最初にご連絡ください。**

実 成 寺 TEL : 052-441-9119 (FAX : 052-441-9131)